

第 1 回

## 田空わがまち自慢

ASO 田園空間博物館では地域とタイアップして散策イベントを随時開催しています。今回から活発に活動されている団体を「田空わがまち自慢」と題し、各団体の取り組みを紹介します。第 1 回目は「元気ならぎの」の皆さんにお話を伺いました。



「元気ならぎの」の皆さん。

### 「地域活動をより多くの人に。」

**平** 成18年8月、途絶えていた盆踊りの復活をきっかけに、地域活動をもっと多くの人に知ってもらおうと、榎木野区長を中心に活動を開始しました。

当初、自分達の地域は何もないところだと思っていました。サテライトである乳の木をはじめとする地域の史跡を活かしながら無理をしないで、できるイベントを何回か重ねることで地域の団結力も向上。平成19年4月に地元グループ「元気ならぎの」を立ち上げ、平成20年にASO 田園空間博物館の散策イベント「阿蘇市をさるこう！」の案内人としても活動を開始し、阿蘇市内外のお客様をご案内しています。

平成21年10月には、「元気ならぎの」ジャンパー（左下写真）を作り、地域の団結力が一層深まりました。この団結力も榎木野地域の魅力の一つだと感じています。

### 「波野を訪れる方々に喜んでもらえるように。」

**こ** れまで、ASO 田園空間博物館と共に年3〜5回のイベントを実施しています。このほか、サテライト活動として、平成18年から毎年、乳の木周辺の草刈り（年4回）、花植え（年2回）、ふれあい公園内の清掃活動（年1回）などを行っています。

また、春の桜が過ぎると周囲が緑一色になってしまうので、地域に華やかさを出すた

め、毎年、4月から5月上旬まで乳の木のそばにたくさん鯉のぼりを揚げるなど、波野を訪れる方々に喜んで頂くために地域全体で取り組んでいます。

平成21年にはサテライトを活かしたイベント実施等で、最も優秀な活動を展開したとして「阿蘇づくり大賞」を受賞しました。



榎木野地区の名所「乳の木」。



お気づきですか？

じどうぎゃくたい

# 児童虐待

児童への虐待は、近年増加の傾向にあり主な児童虐待は4つに分類されます。

## 1 身体的虐待

**殴**る、蹴る、投げとばす、首を絞める、溺れさせる、逆さ吊りにする、タバコの火を押しつけるなど、子どもに対する身体的な暴力です。後遺症を残したり、最悪の場合は死に至ることもあります。

## 2 ネグレクト（不適切な養育）

**家**に監禁する、登校させない、重大な病気になっても医者に連れて行かない、十分な食事を与えない、ひどく不潔なままにする、車の中に放置するなど、健康状態を損なう程の不適切な養育、あるいは危険についての重大な不注意を犯すことです。最悪の場合、栄養失調や脱水症状などで死に至る場合もあります。

## 3 性的虐待

**子**どもに性的ないたづらをしたり、性的関係を強要したりすることです。父親が（実父、義父）が娘を対象にすることが多く、兄が妹に対して行うこともあります。異性への極端な嫌悪感を植えつけるなど心身ともに大きな傷を残す行為です。

## 4 心理的虐待

**「お**まえなんか産まなければよかった」などひどい言葉でなじったり、極端に無視することによって子どもにも心理的な傷を負わせることです。強いおびえやうつ状態、強い攻撃性などの異常な精神状態があらわれる場合もあります。

### ■相談援助機関

虐待を発見されたら通報してください。通報者のプライバシーは、固く守ります。

- 熊本市中央児童相談所  
(熊本市東区长嶺南2丁目3-3)  
☎096-381-4411
- 阿蘇市健康福祉課  
(阿蘇市一の宮町宮地504-1)  
☎0967-22-3167

田空では、楽しいイベントを開催中です！  
詳しくはwebで！<http://www.aso-denku.jp/>

## イベントのツボはこれ！

**毎**年、味噌作り体験や農業体験イベントを開催しています。里芋植え付け・収穫体験は一年を通してのイベントとなっており人気があります。また、味噌作りは、昔ながらの製法で大豆を蒸すところから手間をかけて作りあげるの、味噌の味は格別で病み付きになります。そして、なんといつでもこだわりの抜いた昼食の郷土料理は「元気ならぎの」ならぎのおもてなし心満載です。波野で採れた野菜や山菜をふんだんに

地元こだわった昼食の郷土料理。



使った郷土料理の数々。また、器には竹の笹で作った茶碗やススキで作った箸など、たくさんさんのアイデアが詰っており、参加された方々にいっぱい思い出を作ってもらおうと、いろいろな工夫をしています。

揃いのジャンパーで団結。

元気ならぎの

**「元**気で地域を盛り上げていこうという雰囲気になってきているので今後も継続していきたいと思えます。地域の特産物、特色をもっと知ってもらいたいとの思いから、年を追うごとに、地域からたくさんのアイデアや意見が出され、それを活かした地域の素材を使った料理も増えています。

今後は、お年寄りの方をもっと取り込んで、ふれあいの場を広げ、また、隣の地域との交流も深め、波野全体を盛り上げていきたいです。